

天理市 総合防災マップ



● 目次

災害・被害を少なく	2
非常持出品・備蓄品	3
避難情報と警戒レベル	4
避難行動の種類	5
土砂災害について	6
風水害について	7
避難の心得・日頃の備え	8
情報の入手方法・地震の際のトイレ	9
地震ハザードマップ	10~11
地震について	12~15
南海トラフ地震臨時情報	16~17
医療機関案内①②	18~20
避難行動判定フロー	21
浸水害土砂災害ハザードマップ 全体図	22~37
詳細地図①~⑦	
・想定最大浸水区域	
・家屋倒壊等氾濫想定区域	
・土砂災害警戒区域	
ため池ハザードマップ①②	38~41
避難場所について	42~43

ハザードマップについて

ハザードマップの使い方

1 自宅や普段利用する場所を 確認しましょう

自宅等の周りではどんな災害と被害が想定されているかを確認しましょう。



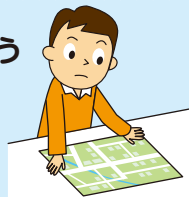
2 避難する場所を確認しましょう

自宅等の最寄りの避難所に印をつけましょう。また、第2候補、第3候補も決めましょう。



3 安全な避難経路を決めましょう

自宅等から避難所までの避難経路を考えましょう。川・山の近くを通るルートは危険なので避けましょう。



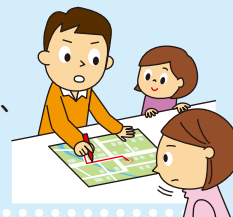
4 実際に避難経路を歩いてみましょう

足元が悪い状況でも安全に避難できそうか確かめましょう。地図上ではわからない危険が潜んでいるかもしれません。



5 家族で話し合いましょう

災害時の行動について家族と話し合い、表紙のわが家の防災メモに書き込んでみましょう。



6 学校や近所で考えましょう

学校や近所で災害について話し合うことも大切です。いざというときは周りの人と協力して避難しましょう。

